

中学部への主なコメント

No.	所属先	内容
1	特別支援学校	生活単元学習については、生徒の主体的な学びがあることが前提にあり、その上で深い学びの姿を取り入れることを大切にされていて参考になりました。ただ、実態差が大きい中、学部で一つの単元を作りあげる難しさも感じました。
2	特別支援学校	生活単元学習を通しての深い学びの視点が勉強になりました。授業動画では生徒が手持ち無沙汰に見る場面があったので、番号札渡しの際に籠を持つ係を生徒に任せる、話し合い活動はグループを分けて2、3人で行う等、生徒の活動を増やす工夫があってもよいかと思いました。
3	特別支援学校	単元に関するいろいろな調べものコーナーなど、子供の思い付きを大切に環境づくりに驚きました。またそれだけのスペースが確保できることに羨ましさも感じました。海の生き物を作る材料を買いに行くシーンがありましたが、教師に与えられた素材ではなく、自分で考えて選ぶことから始められたことに、関心しました。自分自身の授業づくりにもいかしていきたいと思いました。
4	特別支援学校	実際の水族館を最初に見てから学習につなげていて、実体験を生かした内容になっていました。小学部の遊びの指導の中で映像として水族園が写っていたので小中で連携しても楽しそうだなと思いました。
5	特別支援学校	生徒は、環境に応じて活動しているのがよく分かりました。深い学びについても事実に基づき丁寧にエピソード記録されていることが分かりました。知的障害に限らず、内面の理解というのは大切ではないかと思っています。エピソード記録するということは、表面的な知識・理解にとどまらず、それをどのように生かそうとするのかという視点も考えることができるなと思ったところです。
6	特別支援学校	発信に難しさがある子どもに対しても、一つ一つの授業に対して普段の関わりや集団を生かし、学びを深めていくことができることを学ぶことができました。
7	教育関係機関	生徒のプロフィール詳細が分かりませんが、内部進学者と外部からの入学者がいて、発達による個人差が大きく、指導が難しいのだらうと感じました。その中で、ダイナミックな活動に、リアリティをもたそうと努めるなど、教員集団の工夫と苦勞の後がよく分かりました。
8	特別支援学校	生活単元学習の存在意義が検討されている最中なので、合わせた指導だからできる授業をどのように作ってあげばよいのか考える上で参考になりました。
9	特別支援学校	「できる」「わかる」「考える」という授業づくりのポイントと深い学びの姿を支える視点と絡めて、事前の協議から生徒の思考を想像しながら授業をつくっていく過程を参考に授業をつくってみたいと思いました。
10	教育関係機関	本県においては、生活単元学習の授業においても教科のねらいを明確にし、深い学びの姿についてもそれにそってみとるように…というようなお伝えをしていましたが、本研究を見ながら、合わせた指導だからこそ身に付けられる「深い学びの姿」についても教師がしっかりと考えておくことの大切さを感じました。協議記録にあるように、「記録」から見取することはなかなか難しいかもしれませんが、記録を続け、その中から見取る経験を重ねていくことが大切なのだと感じました。
11	特別支援学校	深い学びの姿の一覧表がとても分かりやすく、今後、子どもたちを見立てるときの視点にしたいと思いました。
12	小学校	タブレットを使用して学習を進めることは、今後、たくさんの実践を通して何をどのようにどこで使用するのか見極めていくために重要だと思いました。最後のまとめでは、教師が話すだけではなく、タブレットを生徒に使用させて発表することもできそうだなと思いました。

13	学生	対照的な事例見の様子から、生徒一人一人が自分でできること考え、友達と一緒に積極的に活動に参加する姿が印象的だった。どの生徒にも使いやすい環境設定になっていたことも生徒の積極性に繋がったと思った。
14	中学校	資料等から、一人一人の様子を細かく観察し、丁寧に実態把握をされていると感じました。現在、自分が担任する教室には2名しか生徒がいなくても、1人で2名の生徒を同じように細かく見るということに難しさを感じています。しかし、生徒一人一人に合った学習活動を行うことは大切だと感じるので、日々学んでいきたいと思いました。
15	小学校	活動になかなか興味関心を持たないお子さんに対するアプローチや目標設定の見直し等、教師が計画や予測を変更していくことの大切さを改めて感じました。
16	教育関係機関	授業への、「深い学びをさせる視点」の取り入れ方、「子どもの学びを見取る」視点と使い方がよく分かり、授業に取り入れたいと思った。その上で、質問を一つ。見取る視点が、授業の個別の評価になっていると読み取ったが、個別の目標（ねらい）の設定と見取りの視点の関係は、どのようになっているのか。発表では、目標設定の説明はなかったように思うので。

中学部から

個別指導計画で設定した目標やその評価は、その子の実態を踏まえて焦点的に設定したものです。それに対して、「学びを見取る視点」は授業中に起こりうる多様な学びを想定したものです。「学びを見取る視点」の中に、「個別の目標」が含まれる、という関係にあると考えています。

17	中学校	宿泊学習に行けなかったのは生徒にとって残念だったと思いますが、それを良いチャンスに変え、水族館の生き物に興味をもてるような単元構成されていることがすばらしいと感じました。教材を生徒が自由に選べることで、何かを作りたいというプラスの意欲につながっているように思いました
18	特別支援学校	校外学習で分かったことや興味を持った魚について調べたり作ったりすることに取り組み、発表という目的のある単元構成が参考になりました。単元構成や教材の豊富さにより、学びが深まっていったのだろうと感じました。
19	特別支援学校	授業を振り返り、自分たちで考えて授業を作っている展開で学びの確認が子供たちにあつたと感じました。計画から子供たちで考え、グループで話し合いながら主体的に学習を進める形式は中学部ならではと思いました。
20	特別支援学校	活動の主テーマに興味を持たない生徒でも、他に目的を見つけて一緒に活動する姿が素晴らしいと思いました。
21	特別支援学校	やはり生徒達が「こうしたい」、「ああしたい」などの思いを持って授業することの大切さをあらためて感じました。また、材料を十分に用意しておくことの大切さも改めて感じました。ありがとうございました。
22	教育関係機関	生活単元学習と各教科の関連について、具体的にお聞きしたいです。授業づくりがとても参考になりました。ありがとうございました。

中学部から

本校では生活単元学習の授業を構想するときに、一人ひとり活動が充実し、多くの学びが得られるよう単元を作っています。そこには、各教科等の内容や深い学びの姿が含まれていると考えています。また、学校生活全体を通して各教科の内容が扱えるよう教育課程を編成し、学習を行うようにしています。

23	特別支援学校	水族館づくりは規模が大きくて、とことん作りこむ感じなのでとても楽しそうだと感じました。そのため、より子どもたちも主体的に取り組み、自分から工夫することができているのだと思いました。生単を帯で行い、発表する目標に向かって取り組むこと、子どもたちも見通しが持ちやすくて良いと思いました。
24	特別支援学校	水族館という一つのテーマから、多くの場の設定や発想を引き出す設定がなされており、教師が前に出ずとも生徒自身や生徒同士が学び合っている工夫が素晴らしいと感じました。

-
- 25 福祉施設 自分で考えたり、他者との関わりの中で変化が見られたりした方が印象的です。単元学習を通して、多面的にご本人を捉えている教師の方の考えが、生徒の方の次の姿に繋がっているのだろうと感じました。作業学習の中には、園芸班と焼き物班があるとのことでしたが、どのようにその方の班が決まるのですか？

中学部から

所属作業班については、作業班での活動、班長など作業班内の役割を踏まえ、その子に経験してほしい活動や、その子の目標、興味関心や得意不得意を考慮して教師が決定し、生徒や保護者に了解を得ています。また、中学部の3年間で様々な作業活動に取り組めるようにも配慮しています。

-
- 26 特別支援学校 難しいなと思っている実態差がある集団での学習、活動も役割であったり周囲との協力で、取り組めることがあることを知った。
-
- 27 学生 教師が見本を示すことで、生徒もそれを生かして自らもやってみるという一歩を踏み出すきっかけとなったり、やってみたいという気持ちを引き出しているのだと学ぶことができました。
-
- 28 特別支援学校 ゴールを決め、生徒自身が目的意識を持ちながら自分の得意を生かし学んでいる姿が印象的でした。
-